

第7回対話の場について



- 日時：2022年4月27日（水）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員15名、ファシリテーター6名、神恵内村、経済産業省、北海道庁、NUMO

<対話のテーマ>

- ① 運営委員会の開催結果報告
 - ・ シンポジウムの開催
 - ・ 委員の交代・公募結果
- ② 地層処分のリスクと安全対策について



※当日の資料などについては、NUMOのホームページに掲載し、神恵内交流センターで配布しております。より詳しい内容にご関心のある方には、交流センター職員がご説明に伺いますので、以下の問い合わせ窓口までお気軽にご連絡ください。(電話番号:0135-67-7711)

① 運営委員会の開催結果

【シンポジウムの開催について】

- これまで開催した対話の場や、村民のみなさまへのアンケートで「多様な専門家のご意見を聞きたい」というご意見を頂いたことから、村民のみなさまを対象とした専門家によるシンポジウムを開催いたします。

【日時】2022年5月29日（日）15：00～17：30

【場所】漁村センター

【専門家】 ばん ひでゆき
 伴 英幸氏（NPO法人原子力資料情報室共同代表）
 よしだ ひでかず
 吉田 英一氏（名古屋大学博物館教授 館長）

- 別途、ご案内のチラシを配布いたします。お子様連れの方向けの別室もご用意いたしますので、多くの村民のみなさまのご参加をお待ちしております。

【対話の場委員の交代、公募結果について】

- 今回の対話の場から、新たに2名の方に委員としてご参加いただいております。
- 1名は委員の交代、また、もう1名は、公募に応募された方です。

② 地層処分のリスクと安全対策について

- NUMOより、地層処分のリスクと安全対策についてご説明しました。
- NUMOからの説明後、4つのテーブルに分かれて、委員のみなさまからご質問を頂き、NUMOから回答いたしました。
- 次回も、引き続き、地層処分のリスクと安全対策についてご説明と質疑応答を行います。



③ 地層処分のリスクと安全対策に関するご質問と回答

【ご質問】TRU廃棄物は、ガラス固化体になる？

- TRU廃棄物はガラス固化体にしません。TRU廃棄物はほとんどが固体状で、これらはセメントで固めたうえで地層処分する想定です。

【ご質問】諸外国の状況を詳しく知りたい。どのような説明をしたのか。

- 諸外国も、高レベル放射性廃棄物は地層処分する計画です。
- 国によって色々な説明の仕方がありますが、基本的には、日本と同じように対話形式の説明会を開催しています。
- 例えば、スウェーデンでは実施主体の職員が、各家庭を訪問し、夕食後コーヒーを飲みながら地層処分について話し合うという事をしていたと聞いています。また、フィンランドでは、実施主体の説明会の他に、規制する側も、個別に説明会を開催しています。

【ご質問】使用済み燃料がミサイル攻撃を受けた場合の被害は？（想定と対策）

- ミサイル攻撃を受けても壊れない施設を造るのは、現実的に困難です。
- ただし、重要な原子力施設については、航空機が落下して衝突する事故を想定して、コンクリートの厚さ等を設定しています。将来、地層処分の地上施設を建設する際は、既存の原子力施設と同等の対策を講じる想定です。

【ご質問】高レベル放射性廃棄物の総量はどれくらいあるのか。幌延深地層研究センターや青森県六ヶ所村の日本原燃の貯蔵施設を活用できないのか。

- NUMOは、少なくとも4万本の高レベル放射性廃棄物を処分できる施設を建設する計画です。
- 現時点では、ガラス固化体換算で約2万6千本相当の使用済み燃料が発生しています。
- 幌延深地層研究センターは、研究施設なので処分場にする事はありません。
- 日本原燃の施設については、青森県を最終処分地にせず、現在の日本原燃の施設からは、最長50年の管理期間後は搬出する約束です。また、そもそも地上施設で、数万年以上にわたり人間が維持・管理するのは現実的ではありません。地層処分は、長期にわたる人間の管理を必要としない処分方法です。

【ご質問】地上施設での長期保管を想定する場合のコストと地層処分をする場合のコストはどれくらい？

- 地上施設で保管する場合は、数万年といった長期にわたり維持・管理していく必要があります。その間には施設の修復や建て替えも必要になります。一方、地層処分は、長期にわたる人間の管理を必要としません。
- コストの比較については、次回の対話の場でご説明します。

【ご質問】地上施設で保管している間に技術進展はありますか？

- 技術進展が起きる可能性はあり得ます。
- 地層処分の実現を着実に目指しつつ、新たな技術の研究も進められています。

対話の場における配布資料や映像は、NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO 
<https://www.numo.or.jp/>



神恵内村対話の場 委員名簿（第7回以降）

（あいうえお順）

	氏名	所属等
1	五十嵐 浩二	神恵内村社会福祉協議会
2	池本 美紀	公募
3	井田 和夫	公募
4	稲船 義則	公募
5	岡田 順司	神恵内村商工会
6	金田一 輝昭	古宇郡漁業協同組合
7	柴崎 政弘	珊内地区
8	鈴木 徳夫	公募
9	滝本 正雄	公募
10	松本 遊	魅力創造研究会
11	松屋 有信	（福祉関係）
12	宮下 美津	川白地区
13	村田 由紀子	古宇郡漁業協同組合
14	<small>やまおうまる</small> 山王丸 千佳子	神恵内村 PTA 連合会
15	山森 昂	古宇郡漁業協同組合

他4名

以上